

市議会だより

81



希望いっぱい！初登校！！
ピカピカの一年生！！

元気に学校に通います。

少し不安でも、たくさんの夢や希望をランドセルに詰め込んで小学校生活を楽しんでほしいと願っています。

(山田小学校の登校風景)

第1回定例会

定例会概要・当初予算概要	P.2~3
代表質問	P.4~7
一般質問・討議・賛否一覧	P.8~11
議案審議、議決結果一覧表 ほか	P.12~13
総括質疑	P.14~15
1月臨時会・補正予算概要	P.16~17
議会からのおしらせ・委員会行政視察報告	P.18~21
議会のうごき ほか	P.22

 ちいき本棚

スマートフォン・タブレット用アプリ「SideBooks」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。

 マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。



令和7年

第1回 定例会



第1回定例会は、2月25日（火）から3月18日（火）までの22日間の会期で行われました。

開会日には、佐藤市長による施政方針と武石教育長による教育行政方針が述べられたほか、令和7年度各会計当初予算を中心に議案47件が上程されました。

本会議5日目には、これに加え補正予算案や議会議案など追加議案4件が上程され、審議、議決されました。

ここでは、可決された主な議案や補正予算の主な事業などについてご紹介します。



条例の制定

●湯沢市子ども・子育て会議条例
子ども・子育て支援法の規定に基づき、子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項等について一体的に審議するため、湯沢市子ども・子育て会議を置くもの



条例の廃止

●湯沢市高齢者ボランティア館条例
湯沢市公共施設再編計画に基づき、湯沢市高齢者ボランティア館に併設する湯沢市高齢者生活支援ハウスみなせ福祉会に無償譲渡するため、湯沢市高齢者ボランティア館条例を廃止するもの

●湯沢市高齢者生活支援ハウスみなせ条例
湯沢市公共施設再編計画に基づき、湯沢市高齢者生活支援ハウスみなせの指定管理者である社会福祉法人みなせ福祉会に無償譲渡するため、湯沢市高齢者生活支援ハウスみなせ条例を廃止するもの



条例の一部改正

●湯沢市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例
鳥獣被害対策実施隊隊員の報酬について、市街地における有害鳥獣の捕獲等に従事した際の出務給を追加するもの

●湯沢市皆瀬米穀乾燥調製施設条例
市内における農作業等の受委託や近隣の米穀乾燥施設の利用料金については、湯沢市標準農作業料金検討協議会が定める農作業標準料金が基準となつていることから、湯沢市皆瀬米穀乾燥調製施設の利用料金についても、この農作業標準料金を基準とするため、所要の改正を行うもの

●湯沢市湯沢文化会館条例
湯沢文化会館大ホール用備品（ピアノ・スタインウェイID274）の使用料を追加するもの



字の区域の変更

●高松字高松沢国有林地内
地熱発電事業用地として貸付を行っている国有林地の売却に際し、当該地は国有林であり字地番が存在せず登記上支障があるため、字の区域の変更について、議会の議決を求めるもの



計画の変更

●湯沢市過疎地域持続的発展計画
産業の振興、交通施設の整備、交通手段の確保等の施策について、事業内容を追加及び変更するほか、本文中の文言の追加及び一部施設名を変更するもの
主な事業の追加・変更
・循環型農業推進センター改修事業
・ほっと館改修事業
・寺沢除雪車庫改修事業
・旧商工会議所会館撤去事業（ソフト）
・母子健康手帳、小児予防接種電子化事業（ソフト）
・スクールバス雄勝小中学校2台追加
・スクールバス湯沢南中学校2台追加
ほか



財産の無償譲渡

●湯沢市高齢者生活支援ハウスみなせ及び湯沢市高齢者ボランティア館（建物）
（譲渡先）
社会福祉法人みなせ福祉会
（譲渡後の用途）
施設譲渡後は、市委託事業として高齢者生活支援ハウスを継続するほか、法人所有の介護施設に従事する外国人技能実習生の宿舎として一部改修のうえ使用する予定



市道の廃止・認定

●廃止する路線名
成沢横山線 ほか3路線
廃止路線総延長 44127.71m

●認定する路線名
沢梨台藤倉線 ほか3路線
認定路線総延長 3232.75m

令和7年度 各会計予算を可決

一般会計 305億5,100万円 (対前年度比 2.57%減)

特別会計 119億1,075万8千円 (対前年度比 1.46%増)

◆ 主な事業 ◆

【新規】

- ▽母子衛生総務費 (子ども未来課) 746万7千円
- ▽中学校部活動地域移行推進事業 (文化部) (生涯学習課) 226万7千円
- ▽湯沢生涯学習センター等跡地活用事業 (企画課) 1,800万4千円

【拡充】

- ▽地域医療確保対策事業 (健康対策課) 1億1,880万9千円
- ▽企業誘致対策事業 (商工課) 5,887万円
- ▽教育研究所費 (学校教育課) 1,029万8千円
- ▽克雪住宅推進事業 (都市計画課) 500万円

【継続】

- ▽ふるさと納税推進事業 (企画課) 3億4,581万1千円
- ▽地域おこし協力隊事業 (まちづくり協働課) 585万円
- ▽地域自治組織支援事業 (まちづくり協働課) 4,956万9千円
- ▽デジタル変革推進事業 (情報政策課) 1,764万8千円
- ▽出産・子育て応援事業 (子ども未来課) 1,083万6千円
- ▽結婚サポート事業 (まちづくり協働課) 583万円
- ▽有害鳥獣対策事業 (農林課) 1,014万3千円
- ▽観光情報発信事業 (観光・ジパロク推進課) 1,666万6千円
- ▽農業経営等復旧・継続支援事業 (農林課) 1,371万7千円
- ▽学校用パソコン更新事業 (教育総務課) 5,905万4千円
- ▽中学校統合事業 (教育総務課) 1億1,917万6千円
- ▽道の駅おがち「小町の郷」周辺整備事業 (建設課) 7,500万円
- ▽湯沢駅周辺複合施設等整備事業 (企画課) 17億4,757万8千円

《各会計予算》

会計名		本年度予算額
一	一般会計	305億5,100万円
特別会計	国民健康保険	44億6,096万5千円
	後期高齢者医療介護保険	6億7,288万8千円
	養護老人ホーム愛宕荘	3億1,485万2千円
	皆瀬更生園	3億2,781万5千円
	湯沢財産区	2,983万円
	院内財産区	3,470万5千円
	秋ノ宮財産区	1,399万6千円
水道事業	収益的収入	12億5,177万1千円
	収益的支出	11億7,288万8千円
	資本的収入	7億4,542万4千円
	資本的支出	11億3,471万2千円
下水道事業	収益的収入	16億5,351万5千円
	収益的支出	16億2,283万1千円
	資本的収入	6億4,234万7千円
	資本的支出	10億5,047万3千円



代表質問

令和7年 第1回定例会 代表質問



議員 久寿 柏原 かしわ ぼら ひさ し

- ・佐藤市政1期目の総括について
- ・令和7年度予算について
- ・第2次湯沢市総合振興計画の進捗について
- ・第3期湯沢市総合戦略について
- ・農林業の振興について
- ・道の駅おがち周辺整備について

湯沢市議会
ユーチューブ
チャンネル
代表質問の動画を
ご覧になれます。



図っていくのか伺う。

【答弁】 新規就農者の確保を図るため、機械や設備等の導入を支援する制度や、農業試験場などで受講する研修に対する奨励金交付制度など若年層から中年層までの新規参入を支援している。

【質問】 水田活用の直接支払交付金について、国が制度を見直す方針を示したが、本市の今後の対応について伺う。

【答弁】 国の具体的な方針が決定次第、制度改正の情報を迅速かつ的確に農業者の皆さまに周知する。制度が改正されるまでは、産地交付金など、よりよい地域農業に向けて事業を展開していく。

【質問】 酒造好適米の販売促進と普及拡大に向けた支援策を伺う。

【答弁】 販売促進について、令和2年度までは湯沢市酒米研究会の事業に支援していたが、研究会が解散したため現在支援は

るか伺う。

【答弁】 まちづくり計画や各種計画に基づき、地域の均衡ある発展を目指し、それぞれの特色を生かしたまちづくりを進めてきた。地域ごとに地域自治組織を設置することで、広域化した行政に声を届ける仕組みを構築した。

社会情勢の変化に伴う課題も顕在化してきているが、市民生活の質や利便性の向上と、それぞれの地域の特性を大切にし、市内全域の均衡ある発展の実現

【質問】 今後の財政収支見通しを伺う。

【答弁】 多様化する社会に対応していくために必要な行政サービスを維持・提供していくためには、不足する財源は財政調整基金の取崩しで対応していかねればならない。持続可能な財政運営を維持していくため、引き続き適正な運用に努めていく。

【質問】 市町村合併から20年が経過するが、合併時に掲げられた地域間の均衡ある発展について、現状をどのように捉えているか

代表質問

行っていない。本市産酒造好適米の全体的な品質の底上げを図るべく、湯沢市酒造好適米品評会を開催している。

質問 令和7年に本市で開催予定の秋田県種苗交換会について伺う。

答弁 令和6年10月に農林課内に種苗交換会準備室を設置し、準備にあたっている。開催日程は10月31日から11月4日までの5日間としている。農産物品評会や各種式典、農業機械化ショーなどが行われる。期間中は多くの来場者が見込まれ、十分な駐車場を確保するとともに、駐車場と会場、会場間を結ぶシャトルバスを運行し、来場者にご不便をかけないよう最善を尽くしていく。

質問 持続的な森林整備と林業・木材産業の推進について伺う。

答弁 林業事業体のほか、他産業や市民の皆さんから幅広く意見を伺いながら湯沢市森林ビ

ジョンの策定に取り組む。中長期的な視点に立ち、森林整備や地域産材活用促進に取り組む。

質問 林道、作業道等の維持管理の現状について伺う。

答弁 路面補修等修繕や主要幹線林道除草や倒木撤去を行っている。市有林以外の民有林作業道については、森林所有者の管理が原則であるが、恒久的な作業道については、市が維持補修のための原材料と重機等借上げに係る費用の一部を支援している。

質問 道の駅おがちのリニューアルについて伺う。

答弁 レストランや物産販売コーナー、道路情報、観光情報を提供する休憩施設や公衆トイレなどの既存施設の改修と整備について、地場産業振興や観光誘客施策の推進に効果が発揮できるよう整備内容の協議、検討を行っている。令和8年度以降を目標としているが、東北中央自動車道の全線開通を見据え、

早期の整備完了を目指し、整備内容とスケジュールを決定したい。

質問 道の駅おがちへのアクセス環境改善について伺う。

答弁 東北中央自動車道横堀道路の供用開始に併せ、雄勝こまちインターチェンジの国道13号接道箇所を道の駅おがち前へ変更する工事を国土交通省に進めていただいている。

質問 エリア内道路の整備スケジュールについて伺う。

答弁 令和7年度に市道道の駅おがち線と小町の郷公園線の道路改良舗装、附属施設設置と改良済み区間の舗装工事を予定している。

質問 エリアの防災機能強化について伺う。

答弁 大規模災害時の集結場所及び活動拠点となるベースキャンプ機能を持たせることで進めている。

避難者や在宅・車中泊避難者等に温かい食事を提供するため

に必要なキッチン資機材の整備を予定している。

整備にあたっては地域の防災拠点機能の充実、来館者への利便性向上と地域のにぎわいの創出につながるよう事業を進めていく。



令和6年3月作成 イメージ図

※本図は、将来をイメージしたものであり、確定したものではありません。



議員
石川 隆一

第3期湯沢市総合戦略について
湯沢市ビジネス支援センターについて
市内中小企業の事業承継問題について
企業誘致対策事業について

湯沢市議会
YouTube
チャンネル
代表質問の動画を
ご覧になれます。



■第3期湯沢市総合戦略
について

質問 これまでの人口減少対策の成果について伺う。

答弁 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略では、若者や子育て世代に対する支援により人口減少を抑制することに特化し、ゆざわローカルアカデミーを実施するなど、関係人口の創出や移住支援等に積極的に取り組んできた。令和2年度から令和5年度までの移住者は84人に達し、令和5年度現在で市内に居住の69人に奨学金返還助成金を支給するなど、社会減の抑制に一定の成果はあったと捉えている。

質問 市民が安心して暮らせるために、市民の意見をどのよう施策へ反映していくのか伺う。

答弁 第3期湯沢市総合戦略の策定に当たり、市民満足度調査や高校生アンケート、庁内の若手職員研修会、市民ワークショップ、湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会との意見交換、パブリックコメントの実施など、多角的に市民の意見を取り入れている。

策定後も定期的に重要業績指標（KPI）の推進状況を確認するとともに、湯沢市地方創生推進会議での検討や市民満足度調査で市民の意見収集など、必要な検証を行いながら進めている。

■湯沢市ビジネス支援センターについて

質問 開設した当初から現在までの相談実績に対する評価と相談者への新たな支援窓口などの対応について伺う。

答弁 令和2年1月から令和6年12月までに相談件数は4千件以上、利用者アンケートによる相談対応の満足度は90・4%であり、利用者の評価は非常に高いものと捉えている。

新商品の開発や販路開拓などに対し、相談者の取組意欲が高い場合、より大きな成果を生むことができたと考えている。

廃止後は新たな相談窓口は設置せず、商工団体や金融機関、秋田県よろず支援拠点などの経営支援窓口を紹介していく。

質問 相談者支援における公平性の問題について、事業の反省点を踏まえ今後の体制をどのように改善する予定なのか伺う。

答弁 相談内容に対し、ビジネス支援センターでは、助言や提案を行ったが、事業者の取組と乖離があった場合は思うような

成果が出せなかったケースがあり、結果的に事業スキルの高い相談者への対応に多くの時間を割くこととなった。相談機会の公平性を保つことができず、行政が行う事業として反省すべき点であると感じている。

要因として、センター長1人による相談体制には時間的な限界があり、相談者の相談機会を阻害したものと捉えている。この反省点を踏まえ、商工団体を中心に、資金調達のみならず経営支援を重点化した取組を進めている金融機関や秋田県よろず支援拠点との連携体制を強化し、幅広く事業者を支援していくことが重要であると考えている。

質問 令和7年4月からの支援体制の検討に対して、あきた企業活性化センターや金融機関、秋田県信用保証協会、商工団体などの各支援団体とネットワーク会議を行い、支援の在り方について十分な協議をし、手厚い支援体制を構築すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答弁 4月から相談できる相手がいなくなったという事がないように一人一人に寄り添った形

令和7年

第1回 定例会 一般質問

3月4日の本会議では5人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開し、市政全般についてたどりました。

	議員名 ※(質問方式)	質問項目	ページ
3 月 4 日	渡部 正明 (一括)	◇どうなった地熱 ◇どうなる湯沢生涯学習センター跡地 ◇どうなる人口減少 ◇どうなるふるさと納税	P. 8
	小田嶋 秋一 (分割)	◇DXの推進について ◇空家等対策事業について ◇ゆざわジオパークの活動について	P. 9
	高橋 達 (一括)	◇本市が抱える課題について ◇本市の教育方針について ◇観光振興について	P.10
	沓澤 正雄 (一括)	◇公共施設について ◇湯沢駅周辺複合施設整備について ◇公共交通について ◇発電事業について ◇緑風荘改修後の改造について ◇通学支援について	
	加藤 昭嗣 (分割)	◇市政運営について ◇特殊詐欺被害の防止について	

各議員の一般質問の様子を、YouTube動画でご覧いただける二次元コードを掲載していますので、ぜひ視聴ください。

※一括質問方式…全ての項目を一括して質問し、一括して答弁を求める方式
分割質問方式…質問項目ごとに分けて質問し、その都度答弁を求める方式

◆どうなった 地熱
質問 MS-2号井を小安峽温泉の温泉旅館への温泉供給や地域産業へ活用できないか伺う。
答弁 温泉旅館への温泉供給は、送湯管理設工事を実施し供給量は満たされている。地域産業への活用は、かたつむり山発電所の運転開始を待ち、必要なモニタリングを実施しながら継続的に検討を進める。

◆どうなる ゆざわ生涯学習センター跡地
質問 犬っこまつり主会場を變更する計画があるか伺う。
答弁 まつりを主催する実行委員会において主会場の変更計画や變更に係る検討は行っていないと伺っている。

質問 市民からの要望のある犬っこ神社建設、ドッグラン設置について伺う。
答弁 多目的広場の一部にドッグランの設置を検討している。犬っこ神社は政教分離の原則から市民団体による土地の確保や神社の建設が必要と認識している。ドッグラン付近に犬っこ神社を建設していただくことで相乗効果により愛犬家を含め、通年で多くの集客を見込めると考えており、中心市街地のにぎ

◆どうなる 人口減少
質問 若者や湯沢市出身者を本市に呼び込むための方策を伺う。
答弁 「働きたい」、「稼がたい」という意欲に応えられるような新たな雇用と仕事の創出、子育てしやすい環境の整備と子育てに関する経済的負担の軽減が必要と考えている。

◆どうなる ふるさと納税
質問 新たにアマゾンのふるさと納税サイトと契約したが、現在の体制で十分か伺う。
答弁 各ポータルサイトの管理運営を専門事業者に行ってもらうことでPR強化に努め、さらなる寄附額の増加につなげる。



湯沢市議会
YouTubeチャンネル

一般質問の動画をご覧になれます。

一般質問

◆DXの推進について

質問 標準システム移行に伴う課題と今後の対策について伺う。

答弁 システム開発業者の技術者不足により製品開発にも遅れが生じている。作業の遅れが最小限となるよう、システム開発業者からの情報収集や庁内担当職員との連携を深め、進捗状況を的確に把握しながら移行作業を進める。

質問 公共施設オンライン予約の使い勝手が悪いことへの対策について伺う。

答弁 今年度は申請時の入力項目を簡素化したほか、町内会等が主催するスマートフォン教室10会場において、オンライン予約システムの周知にも取り組んでいる。

◆空き家等対策事業について

質問 空き家バンクへの登録状況と取組について伺う。

答弁 令和5年度から利用希望者が宅建協会と直接やり取りする方式に変更した。令和5年度の登録は4件、そのうち1件は成約につながった。令和6年度は登録見込みが3件、移住者向けの改修補助も1件あった。

質問 空き家を一時的に民宿のように利用できないか伺う。

答弁 民間ベースのビジネスとして、空き家を宿泊施設とする活用策の可能性を探りながら情報収集に努めていく。

◆ゆざわジオパークの活動について

質問 発足当時、熱気のある市民への周知と比較し、現状では発信力が足りないと感じるが、今後の対策について伺う。

答弁 今回の日本ジオパーク再認定審査結果においても、改善すべきとの指摘を受けており、現在ホームページの改修と内容の刷新を進めている。このほか国内外に向けた情報発信はSNSの活用が有効的な手段であると考え、多方面から情報発信を強化していく。



湯沢市議会
YouTubeチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

◆本市の教育方針について

質問 修学旅行の教育的意義について伺う。

答弁 楽しい思い出づくりの場であると同時に、児童・生徒が主体的に学ぶ貴重な機会と捉えている。

質問 先の定例会で佐藤勝議員からの一般質問で「宿泊費高騰によって修学旅行に影響がないか」に対して、「中学校へ指導をしていく」と答弁があったが、どのような指導をされたのか伺う。

答弁 各学校に改めて確認し、積立金の範囲内で実施できると報告を受けている。

質問 「何を体験させるか、何を考えさせるか」という中で、修学旅行の企画的なものに対して、助成金を検討しても良いと思うが考えを伺う。

答弁 現時点では、トータル的に修学旅行の旅費を考慮しており、助成金の検討までには至っていない。

質問 スキー教室について、市民から金銭面を含めた課題等をいただいたが、そのことについて伺う。

答弁 スキー教室の負担については保護者の方々には、色々なご意見がある。年数回のためにレンタルしなければならぬという話や雪国で育っている中で、是非そういった体験をさせたいという話もいただいている。地域的なことを考えながら各学校で対応を検討している状況である。

◆観光振興について

質問 補助金の適切な目的について、主催者との意思共有が出来るのか伺う。

答弁 補助金の申請段階で色々な話をしており、明確な目的については、申請の段階で計上させ、進めるべきものと考えている。



湯沢市議会
YouTubeチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

一般質問

◆湯沢駅周辺
複合施設整備について

質問 駅舎への屋根付き歩廊の敷設について見解を伺う。

答弁 本事業の基本的な部分が大幅に変更になることに加え、事業費の増額や全体スケジュールなどに大きく影響を及ぼす。整備は、検討していない。

質問 キッズコーナーの遊具選定について選考基準などを伺う。

答弁 施設の目玉であるキッズコーナーは、本市の自然や歴史文化などをデザインに盛り込んだ大型の滑り台や、天井にネットを張り巡らせるなど、立体的な大型遊具を設置する。子供たちが、伸び伸びと体を動かし交流し合える空間を創出したい。

◆発電事業について

質問 市として地熱開発に必要な事項を定め、賦存する地熱資源の適正かつ永続的な活用に寄与する条例が早急に必要と考えるが見解を伺う。

答弁 地熱開発地点が増えてきたことに加え、各地点の開発段階が進んできた。市全体を見通

した自然環境の保護、保全といった観点も、新たに必要になっていると認識し、現在、条例制定も視野に入れた新たな仕組みづくりの検討を進めている。

◆通学支援について

質問 社会情勢から高校生への通学支援も必要と考えるが見解を伺う。

答弁 高校生は、それぞれ自分が希望する高校を選択し、通学している。徒歩や自転車、各家庭で行う送迎の他、路線バスや電車といった公共交通を利用する方もいると思うが、通学条件を考慮しても、支援制度の導入は、公平性の観点からも検討すべき課題が多いものと考えている。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル

一般質問の動画を
ご覧になれます。

湯沢 正雄 議員

◆市政運営について

質問 さまざまなハラスメントに対して職員が被害にあった際の対応について伺う。

答弁 令和3年9月にハラスメントの防止に関する指針、ハラスメントの防止及び相談マニュアルを策定し、庁内に周知している。

質問 これまで報告された職場内でのハラスメントの件数と種類を伺う。

答弁 令和2年度から6年度までセクハラ、パワハラ合わせて7件である。

質問 議員から職員へのハラスメントはあったのか、またアンケート調査の実施について伺う。

答弁 そのような届出はない。現段階で職員へのアンケートを実施する予定はない。

質問 女性管理職の育成・登用を促進するための取組を伺う。

答弁 女性管理職の割合を令和7年度までに25%の目標としているが、今年1月末現在8.7%である。引き続き、キャリアアップにつながる庁内外の研修への参加を促し、管理職候補の職員の育成を図る。

質問 職員の平均的な時間外勤務時間について伺う。

答弁 今年度は1月末時点で月平均8・9時間である。各所属長には職員ごとに業務の偏りがないよう、業務の平準化に努めるよう指示し、長時間勤務に該当する際は産業医による面談の実施など健康管理に留意している。

◆特殊詐欺被害の防止について

質問 特殊詐欺認知件数と被害金額を伺う。

答弁 湯沢警察署管内で令和6年度中の認知件数は3件、被害金額は278万2,363円である。

質問 若年層からの啓発活動が大事であると考え、小・中学校での取組について伺う。

答弁 教育長、社会科や社会情勢に合わせた学習の場を設定しているが詳細は把握していない。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル

一般質問の動画を
ご覧になれます。

加藤 昭嗣 議員

議案第16号 湯沢市温泉条例の一部改正に対する「修正案」の提出がありました

4年後の利用料金は、改正後の施行状況について受益者の方々と話し合い、しっかりと理解を得て必要な措置を講ずるべきであり、今回修正案を提出するものである。

発議者は、湯沢市議会議員 兼子正寛ほか8名である。修正案は、一部改正案の別表第2の温泉使用料金について金額の修正、所要の改正を行うもの。提案の理由は、一部改正案で受益者負担として、使用料金を今後、改正していくことに理解はできるが、これまでの受益者の方々と話し合いの中で「使用料金がまずは2倍となることは仕方がないが、4年後に3倍まで値上げになることについては先を見通すことができない。」という意見が多数あり、3倍まで改正することに十分な理解が得られておらず、当局と受益者との理解に相違がある。社会情勢は大きく変化することもあり、その時の社会情勢で利用料金を検討するべきである。

兼子 正寛 議員



提案理由 説明者

議案に対して討論が行われました

議案第16号 湯沢市温泉条例の一部を改正する条例に対する修正案に対する討論の要旨

改正案は、合併以来20年間据え置かれた給湯料金、現在1口5500円で80℃、時間6000の温泉を温泉事業者に特定し供給しているものを、令和7年4月から1万1千円に、その後4年の経過処置をもって令和11年より1万8500円に改定するものである。

現料金は、他に比して安く、一般家庭の給湯灯油代と同程度である。一方、市では今まで給湯施設に3億円以上の整備費を費やし、更に新たな温泉井に数千円円の整備費が予定される。また、年間維持費も1400万円掛かっており、受益者負担として改正による1万8500円としても、市の持ち出しが年間400万円以上。これを今後市民が負担していくことになる。市の観光事業を支える温泉事業者の方々に応分の支援は、当然と考えるが、毎年補填することに議会は説明責任がある。修正案は、年間維持費の6割程度を温泉事業者が負担するが、それ以下となる修正案は物価高騰に直面している一般市民の方々とバランスを考えると限度がある。よって、当局案に賛成する。

高橋 克己 議員



反対

修正案においては、附則事項に（検討）を付け加えることで行政側に、施行後4年を経過するまで、受益者及び非受益者に対して理解が得られる新たな説明責任を課しており、修正案に賛成する。

議案第16号「湯沢市温泉条例の一部を改正する条例に対する修正案」について賛成の立場から討論する。行政側として特定のサービスを求める者に受益に応じた負担を求めることは、当然のことである。しかし、協議の過程の中で直接サービスを受ける受益者側である温泉事業者において、しっかりと十分な理解がされていない点や親切丁寧な説明が行われたとは言えないとの判断をした。一方で、今回の条例改正に当たり複数の協議や今回に至るまでの経過の中で色々なことが話され、2倍までの負担が上がることについては、一定の理解がされたものと判断した。

高橋 達 議員



賛成

賛否一覧表

本会議の採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。議長は採決に加わりません。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

会派名	湯 和 会 ・ 公 明							政 和 会					湯沢政策研究会					議決結果
	1	9	10	11	12	17	18	7	8	14	15	16	5	6	3	4	13	
議席番号	1	9	10	11	12	17	18	7	8	14	15	16	5	6	3	4	13	
議員名	兼子 正寛	柏原 久寿	高橋 肇	佐藤 愛子	高橋 達	渡部 正明	佐藤 功平	寺田 純二	小田嶋秋一	石川 隆一	高橋 克己	沓澤 正雄	藤田 健志	大山 豪	宮原 晃	佐藤 勝	加藤 昭嗣	
1 月 臨 時 会																		
議案第1号修正案	○	○	○	○	○	○	欠	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	可決
議案第1号 令和6年度湯沢市一般会計補正予算（第11号）に対する修正案																		
3 月 定 例 会																		
議案第16号修正案	○	○	○	○	○	○	欠	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	可決
議案第16号 湯沢市温泉条例の一部を改正する条例に対する修正案																		

令和7年 第1回定例会 議決結果一覧表

○提出議案(49件)、議会議案(2件)、修正案(1件)／2月25日、3月18日上程 2月27日、3月18日議決

▼付託省略 (2件)

※ は本会議で賛否が分かれたもの

番 号	件 名	委員会議決	本会議議決
議会議案第1号	湯沢市議会における手続のオンライン化のための関係条例の整備に関する条例の制定について	—	原案可決
議会議案第2号	湯沢市議会会議規則の一部改正について	—	原案可決

▼総務財政常任委員会 審査 (7件)

番 号	件 名	委員会議決	本会議議決
議案第2号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	原案可決
議案第7号	湯沢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決	原案可決
議案第8号	湯沢市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決	原案可決
議案第9号	湯沢市議会の議員の議員報酬等に関する条例等の一部改正について	原案可決	原案可決
議案第10号	湯沢市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決	原案可決
議案第21号	字の区域の変更について	原案可決	原案可決
議案第22号	湯沢市過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決	原案可決

▼教育民生常任委員会 審査 (9件)

番 号	件 名	委員会議決	本会議議決
議案第3号	湯沢市子ども・子育て会議条例の制定について	原案可決	原案可決
議案第4号	湯沢市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	原案可決
議案第5号	湯沢市高齢者ボランティア館条例の廃止について	原案可決	原案可決
議案第6号	湯沢市高齢者生活支援ハウスみなせ条例の廃止について	原案可決	原案可決
議案第11号	湯沢市手数料条例の一部改正について	原案可決	原案可決
議案第12号	湯沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	原案可決
議案第20号	湯沢市教育研究所条例の一部改正について	原案可決	原案可決
議案第23号	財産の無償譲渡について (湯沢市高齢者生活支援ハウスみなせ及び湯沢市高齢者ボランティア館)	原案可決	原案可決
議案第49号	湯沢市湯沢文化会館条例の一部改正について	原案可決	原案可決

▼産業建設常任委員会 審査 (9件)

番 号	件 名	委員会議決	本会議議決
議案第13号	湯沢市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	原案可決
議案第14号	湯沢市皆瀬米穀乾燥調製施設条例の一部改正について	原案可決	原案可決
議案第15号	湯沢市皆瀬温泉供給施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案否決	原案否決
議案第16号	湯沢市温泉条例の一部改正について	原案否決	修正可決
—	議案第16号 湯沢市温泉条例の一部を改正する条例に対する修正案	—	可 決
議案第17号	湯沢市上下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決	原案可決
議案第18号	湯沢市水道事業等給水条例の一部改正について	原案可決	原案可決
議案第19号	湯沢市下水道条例の一部改正について	原案可決	原案可決
議案第24号	市道の廃止について	原案可決	原案可決
議案第25号	市道の認定について	原案可決	原案可決

※

▼予算決算常任委員会 審査 (24件)

番 号	件 名	委員会議決	本会議議決
議案第26号	令和6年度湯沢市一般会計補正予算 (第12号)	原案可決	原案可決
議案第27号	令和6年度湯沢市国民健康保険特別会計補正予算 (第4号)	原案可決	原案可決
議案第28号	令和6年度湯沢市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第4号)	原案可決	原案可決
議案第29号	令和6年度湯沢市介護保険特別会計補正予算 (第4号)	原案可決	原案可決
議案第30号	令和6年度湯沢市養護老人ホーム愛宕荘特別会計補正予算 (第4号)	原案可決	原案可決
議案第31号	令和6年度湯沢市皆瀬更生園特別会計補正予算 (第4号)	原案可決	原案可決
議案第32号	令和6年度湯沢市湯沢財産区特別会計補正予算 (第2号)	原案可決	原案可決
議案第33号	令和6年度湯沢市院内財産区特別会計補正予算 (第2号)	原案可決	原案可決
議案第34号	令和6年度湯沢市秋ノ宮財産区特別会計補正予算 (第2号)	原案可決	原案可決
議案第35号	令和6年度湯沢市水道事業会計補正予算 (第1号)	原案可決	原案可決
議案第36号	令和6年度湯沢市下水道事業会計補正予算 (第1号)	原案可決	原案可決
議案第37号	令和7年度湯沢市一般会計予算	原案可決	原案可決
議案第38号	令和7年度湯沢市国民健康保険特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第39号	令和7年度湯沢市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第40号	令和7年度湯沢市介護保険特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第41号	令和7年度湯沢市養護老人ホーム愛宕荘特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第42号	令和7年度湯沢市皆瀬更生園特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第43号	令和7年度湯沢市湯沢財産区特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第44号	令和7年度湯沢市院内財産区特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第45号	令和7年度湯沢市秋ノ宮財産区特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第46号	令和7年度湯沢市水道事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第47号	令和7年度湯沢市下水道事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第48号	令和6年度湯沢市一般会計補正予算 (第13号)	原案可決	原案可決
議案第50号	令和6年度湯沢市一般会計補正予算 (第14号)	原案可決	原案可決

○陳情 (2件)

▼総務財政常任委員会 審査 (2件)

番 号	件 名	委員会議決	本会議議決
陳情第53号	地方自治を無視する国に沖縄との対話を求める意見書の提出に関する陳情	不採択	不採択
陳情第56号	デジタル・ベーシックインカム導入に関する意見書の提出についての陳情書	不採択	不採択

◇選挙結果◇

令和7年3月18日(第一回定例会最終日)の本会議で、湯沢市選挙管理委員会の委員および補充員の選挙が行われました。

●湯沢市選挙管理委員会委員

兼子 敏夫 (皆瀬)
佐藤 新一 (湯沢)
由利 君夫 (秋ノ宮)
佐藤 育子 (川連)

●湯沢市選挙管理委員会補充員

補充の順序
第1順位 加藤和佳子 (山田)
第2順位 石垣 幸美 (三梨)
第3順位 高階 豊太 (横堀)
第4順位 高橋 均 (皆瀬)

任期は、令和7年3月25日から令和11年3月24日まで。

総括質疑

令和7年度当初予算に対する予算決算常任委員会の総括質疑が3月7日に行われました。

湯和会・公明、政和会、湯沢政策研究会の各会派から代表として計3人が質疑を行い、令和7年度の各予算の内容についていただきました。

ここでは、質疑の内容の一部を抜粋して掲載します。



「湯和会・公明」
兼子 正寛 委員

■湯沢駅周辺複合施設等整備事業について

質疑 民間収益施設の誘致について、今後どのような活動を行うのか伺う。

答弁 飲食業を中心に誘致活動を行っているが、余剰地の面積や収益性に対して大きな課題がある。次年度内には事業者を募集・選定し、にぎわい創出を図る。

質疑 興味を示す事業者が40社と多くあるのであれば、余剰地以外にも誘致していくべきと考えるが。

答弁 現在、整備を進めている複合施設や、中心市街地へファーストフード店等の誘致をしたい。

■有害鳥獣対策事業について

質疑 ツキノワグマの市街地への出没やイノシシ等による農作物被害が急激に拡大しているが、有害鳥獣対策にあたる実施隊員の確保状況について伺う。

答弁 各猟友会を通して実施隊員の確保に努めており、新たに5人確保し、定員100名に対し現在95人の隊員が

いる。

質疑 次年度から出務給が新たに追加されるが、危険を伴う業務であるため年額報酬の見直しを行うべきであると考えらるが。

答弁 現在のところは、出務分を優先的に報酬として設定した。今後、状況をみながら年額報酬や出務給の変更もある。

■観光情報発信事業について

質疑 これまで首都圏での観光PR等を実施してきているが、台東区をはじめ様々な自治体との友好都市連携を図ることで観光の情報発信が急速に進むと考えるが。

答弁 様々な都市と連携しながら、お互いに行き来や交流することは有効な手段であり、交流事業や都市間交流をしっかりと構築したい。友好都市などの協定についても積極的に対応していく。

■中学校部活動地域移行推進事業（運動部）について

質疑 次年度中に休日の部活動の地域移行実現を目指しているが、必要な環境整備等の現状について伺う。

答弁 先行する3競技（陸上・剣道・柔道）については、指導者や練習場の確保など基本的な環境整備は整っている。それ以外については、指導者の確保、練習場、受け皿、チーム編成等をまだ協議・検討中である。

質疑 地域のクラブ等では、「誰が監

督・コーチをするかわからない」「今後どのような不安」など、受け入れ体制の準備が整っていない中で急速に推し進めるものではないと考える。準備が整っている団体から順次移行するべきと考えるが。

答弁 令和8年度までに完全移行を目指すものではなく、種目によって組織等が異なるため個別に対応し、状況に応じて地域の方々や保護者の皆さんと話し合いを進め、柔軟な対応をしていく。

質疑 生徒や保護者の不安な気持ちに対し、今後の進め方等において、急な計画は見直し、しっかりと説明していく必要があると考えるが。

答弁 校長会や部活動の担当者の会等では説明しているが、指摘のあった点は周知不足と捉え、丁寧な説明に努めていきたい。

■学校給食センター経費について

質疑 学校給食用漆器食器が本格導入されるが詳細について伺う。

答弁 次年度に中学校分として1100個、令和8年度に小学校と稲川支援学校分として1800個が納品予定である。各年度とも長期休業中に入替作業を行い、2学期から使用を開始する。

質疑 長年かけて食器洗浄機に対応した漆器のお椀がやっと完成した。これを近隣自治体などで活用いただければ産業の発展等に良いと考えるが。

答弁 食器洗浄機に対応した食器は活

用の幅が格段に広がる。介護施設や病院等、状況をみながら働きかけたい。

〔政和会〕

高橋 克己 委員



■有害鳥獣対策事業について

質疑 今回、関係団体との連携によるきめ細かな支援体制の構築として見直した内容について伺う。

答弁 市街地に熊が出没した際、捕獲、駆除及び安全要請した際の報酬を条例で規定することを提案した。

質疑 担い手であるハンターの確保、育成については。

答弁 鳥獣被害対策実施隊機能強化補助金により、狩猟免許取得及び更新の経費を支援し、負担軽減を図っている。また、安全に活動するための装備品等の充実、出射対応訓練の実施等による捕獲技術の研鑽、被害防止意欲向上により機能強化に務めていく。

質疑 出務給、報酬について、どのように基準で算定したのか。

答弁 他自治体等の参考事例などを考慮して決定した。

質疑 消防団、部活動指導員などの報酬と比較しても、低すぎる。今後見直ししていくべきと考えるが。

総括質疑

答弁 見直しをしていくべきものと考える。

■皆瀬活性化センターに関連する予算について

質疑 皆瀬地区に農業法人は幾つ設立されているか。

答弁 活性化センターを除き、1法人である。

質疑 設立時からだいぶ経過しており、行政が長く関わっていると民間は強くなっていかない。農業部門は切り離す時期に来ているのではないか。

答弁 農地の維持、農作物の振興という部分で考えると、端的に農業部門を切り離すとはならないが、検討する色々な見直しの選択肢の一つと考える。

質疑 センターの今後のあり方として、あくまでも営利企業だということを見野に入れながら事業を展開していくことが大事で、地熱発電などまだまだやるべき事業がたくさんある。よい事業が展開できる可能性が高いが、検討していく気持ちがあるのか伺う。

答弁 地熱を活用する方法や観光地としてもっとお客様を呼ぶ方法、いろいろなことを検討していかなければならぬ。営利を追求できる団体であるということを入れて、今後対応してまいりたい。

■令和7年度一般会計予算と主な事業について

質疑 第3期湯沢市総合戦略で重点と捉えている課題と対応するための施策について伺う。

答弁 重点点は人口減少問題であり、奨学金返還助成、福祉医療費助成や保育料副食費助成、学校給食費の完全無料化等の継続、道の駅雄勝こまちの郷周辺整備事業、湯沢駅周辺複合施設整備事業等にぎわいを創出する施設整備の推進、母子健康手帳アプリ「母子モ」の導入、新たな産業団地の造成、IT関連企業の誘致により新しい仕事、働き方の創出、新たな雇用に対するリスキリング支援等に取り組む。

質疑 生産人口年代の方々の移住が大きな力を発揮し効果が絶大と考えるがどうか。

答弁 生産人口年代に限らず移住が増えると、消費活動等による経済効果を始め様々な部分で大きな影響があると考えている。

質疑 生産人口年代が増えることによる経済効果をもって、新築住宅補助金などの支援に向けられるのではないか。

答弁 移住していただくと大きな効果があるが、他に行ってしまうとマイナスの影響が生じる。新しい家を建てるような人生最大の決断時に湯沢市を選んでもらえるよう、庁内で議論をしながら検討したい。また、移住者を増やす施策も今後もしっかりと対応してまいりたい。

〔湯沢政策研究会〕

藤田 健志 委員



■地域医療確保対策事業について

質疑 中核病院機能確保補助金が新たに雄勝中央病院へ交付されるが、交付に至る経緯を伺う。

答弁 救急及び小児医療対策運営費補助金の拡充、高度医療機器導入に支援を行ってきたが、経営が厳しくJA秋田厚生連から、さらなる財政支援要望があり、地域の中核病院として医療提供体制を確保、維持するため新たな財政支援が必要と判断した。補助金額(約4280万円)は、入院患者に係る医師の人員費の2分の1が積算根拠となる。

質疑 雄勝中央病院の経営状況を伺う。

答弁 収支として令和3年度、3億5200万円、令和4年度、2億7100万円、令和5年度、4億5100万円の損失となっている。病床病床は、令和7年2月から病床を4つから3つに再編・縮小し病床数を197床から170床に削減し稼働している。

令和6年度

一般会計

(補正後の予算総額は、345億2,565万4千円になります)
※補正第11号～第14号補正後

41万円の増額

特別会計

(補正後の予算総額は、119億558万4千円になります)

3,372万8千円の増額

◆ **補正予算の主な事業** ◆

《各会計補正予算》

会計名		今回補正予算増減額
一般会計		41万円
特別会計	国民健康保険	9,208万1千円
	後期高齢者医療	△2,018万3千円
	介護保険	△3,081万7千円
	養護老人ホーム 愛宕荘	△644万円
	皆瀬更生園	△84万7千円
	湯沢財産区	1万3千円
	院内財産区	△7万9千円
	秋ノ宮財産区	0円
水道事業会計	収益的収入	△1,736万1千円
	収益的支出	△2,425万9千円
	資本的収入	△8,141万5千円
	資本的支出	△5,808万6千円
下水道事業会計	収益的収入	△1,633万8千円
	収益的支出	206万3千円
	資本的収入	△2,479万4千円
	資本的支出	△2,782万8千円

- **令和6年度湯沢市一般会計補正予算(第12号)**
- ▽**ふるさと納税推進事業**
(企画課) 4,397万6千円
ふるさと納税寄附額の実績見込みに伴う、ポータルサイト委託及び特産品発送業務の委託料等の経費の追加
- ▽**金融対策事業**
(商工課) 2,021万4千円
売上が減少している市内中小企業者が、秋田県の融資制度を利用した場合に発生する保証料及び利子を補給することにより、経営安定を図るための費用の追加
- ▽**地域防災緊急整備事業**
(総務課) 2,059万7千円
新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用し本市の防災力を高めるため、避難所生活におけるトイレ環境の整備として小型トイレカー2台を整備するための費用の追加
- **令和6年度湯沢市一般会計補正予算(第13号)**
- ▽**プレミアム付商品券事業**
(商工課) 3億7,894万円
食料品やエネルギー価格等の物価高騰の影響を受ける市民に対し、「湯沢市プレミアム付商品券」を発行し、地域内消費の支えによる市民生活の負担軽減を図る経費の追加
- **令和6年度湯沢市一般会計補正予算(第14号)**
- ▽**冬期交通対策費**
(建設課) 7,200万円
3月の排雪計画に基づき不足が見込まれる所要経費の追加

令和7年1月臨時会概要

1月27日に開催された臨時会では、一般会計補正予算について審議が行われ、付託委員会から修正可決の報告がされ本会議での採決の結果、修正可決しました。その内容については下記を御覧ください。

○提出議案：予算決算常任委員会審査(1件)

議案番号	件名	委員会議決	本会議議決
議案第1号	令和6年度湯沢市一般会計補正予算(第11号)	修正可決	修正可決

◆ **主な補正予算の事業** ◆

- ▽**介護保険施設等物価高騰対策事業**(長寿福祉課) 3,504万4千円
物価高騰に直面している介護保険施設等を支援するため光熱水費等及び食材料費に対し助成を行い施設運営費の負担軽減を図る経費の追加
- ▽**運送事業者等緊急支援金給付事業**(商工課) 701万7千円
エネルギー価格の高騰により極めて厳しい経営環境に置かれている市内物流事業者に対し、支援金を緊急的に給付することで、地域の物流を維持し事業の継続を図るための経費の追加

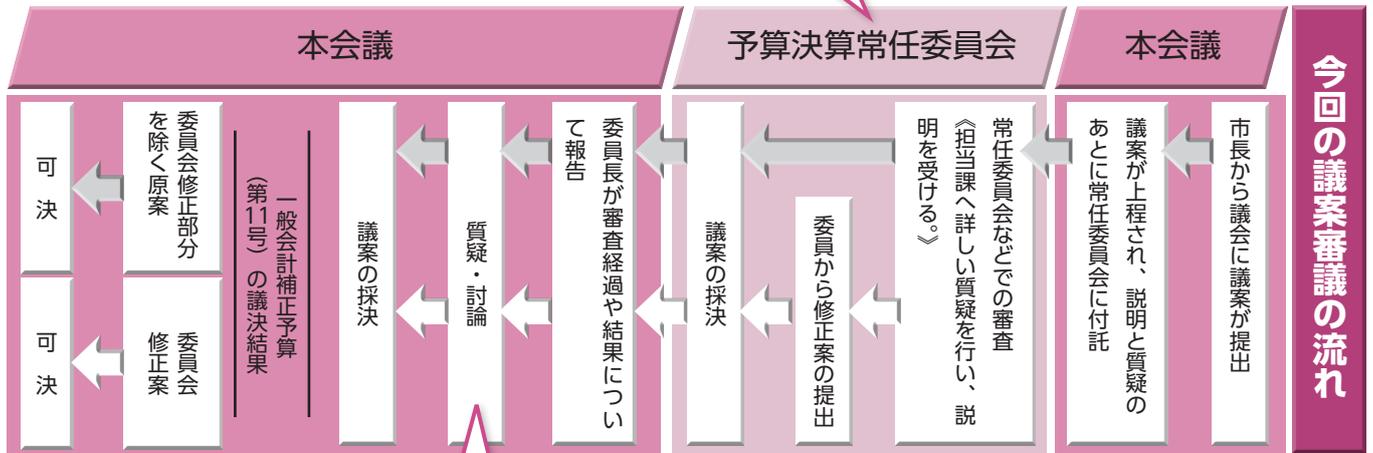
予算決算常任委員会において、議案第1号 令和6年度湯沢市一般会計補正予算（第11号）に対する「修正案」の提出がありました

1月27日、1月臨時議会本会議で提出された議案第1号について、同日に開催された予算決算常任委員会において、渡部正明議員ほか3名から「キャッシュレス決済ポイント還元事業」に係る額を削除した修正案が提出され、石川隆一委員から修正案に対する反対討論があり、佐藤勝議員から修正案に対する賛成討論が行われました。

起立採決の結果、修正案について賛成多数で可決すべきものと決し、修正可決した部分を除く原案については、起立採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

議案の修正って何？

市長などが提出した議案の内容を削除、減額、追加などにより変更することをいいます。議員（委員）が修正案を提出する場合は、その案を備え、あらかじめ文書により議長（委員長）に提出します。



議案第1号 令和6年度湯沢市一般会計補正予算（第11号）「修正案」に対する討論が行われました

反対

石川隆一議員

今回提案された、キャッシュレス決済ポイント還元事業について、物価高騰による市民の負担を軽減し、消費を下支えする事業でありキャッシュレス決済の普及を通じて、地域経済の活性化が期待されると思われる。事業の準備期間によって、即効性が乏しいことも懸念されるが、ポイント還元率10%により市民の購買意欲が高まり、また還元の上限が1億4千万円であり、14億の売上が見込めることにより、コロナ禍後も厳しい経営を強いられてきた中小企業にとつても店舗の売上増加が期待されることや、キャッシュレス決済の普及により、店舗の業務効率率が向上し現金管理の手間も減少する。こうしたことから、買物による消費の増加と企業の売上が増えることにより、連鎖的に地域経済全体を活性化させることに繋がる。以上の理由から、修正案に対して反対する。

賛成

佐藤勝議員

キャッシュレス決済ポイント還元事業について、物価高騰対策としてキャッシュレス決済のポイント還元率を上げ、消費を支援する方針が示されたが、物価高騰は今まさに続いており、燃料費の上昇も市民生活に重くのしかかっているため、利便性

反対

高橋克己議員

と即効性をみたした対策が必要である。DX推進の観点から本事業自体を否定するものではないが、本事業はキャッシュレス決済利用者のみ限定され、開始時期も6月と遅いため、物価高騰の影響を受けるすべての市民に十分な支援とは言えない。この点を考慮し、事業の見直しを求め、修正案に対し賛成する。

本事業はキャッシュレス決済を普及しながら、市内経済の拡大に資する事業であり、プレミアム率を10%とし、約14億円が市内事業者に行き渡る有効な事業である。修正案に賛成者の意見は事業開始に時間が掛かり過ぎる。一刻も早い対策をとることだが、どの様な施策にでも準備期間というものがああり、どんなに早くしても1〜2週間程度早まる程度と考える。それよりも物価高騰などで厳しい状況にある市内小売店を始めとする事業者の方々に約14億円という経済効果を優先すべきである。

令和7年1月から個人住民税均等割非課税世帯向けの給付金と灯油購入費助成金の支給も始まっている。今度は従業員を支え、市民の生活を担っている事業者への応援も必要ではないか。そのためにも修正案については、反対の考えである。

議案第1号 令和6年度湯沢市一般会計補正予算（第11号）の修正案については、賛成多数で可決すべきものと決しました

※P11に賛否一覧表を掲載しております。

次世代に残したいホワイトな湯沢市議会のあり方に関する特別委員会から中間報告を行いました

湯沢市議会行動指針

ホワイトコード

ホワイトコードの概要

1. 議員の資質向上に関すること
2. 会議等における貢献度評価に関すること
3. 議会の品位保持に関すること
4. 議会の働き方改革に関すること
5. 事業量の適正化に関すること

湯沢市議会
YouTube チャンネル
中間報告の動画をご覧になれます。



次世代に残したいホワイトな湯沢市議会のあり方に関する特別委員会は、令和6年7月臨時会において設置され、これまで8回の委員会を開催してきました。このたび、これまでの調査の経過と委員会提案事項の内容について、令和7年第1回定例会において、柏原久寿委員長から中間報告を行いました。市民に身近で信頼される開かれた議会づくりを進めるため、議員や議会のあり方を見直し、専門性、多様性と働きがいや働きやすさを備えたホワイトな湯沢市議会を構築することが重要であると考え、新たな行動指針を提案しました。また、近年の社会情勢に応じ、多様な人材が議員活動に専念できる働きやすい環境の整備として、議員報酬額と政務活動費の見直しを提案しました。

※ホワイトな湯沢市議会とは、次世代に残したい議会のあり方を表現したもので、ワーク・ライフ・バランスの充実やダイバーシティの推進などの面で優れ、さまざまな背景を持つ従業員が共に働きやすい職場環境と従業員の健康や人材育成の制度が整っており、従業員の満足度や企業の生産性の向上につながっている企業、いわゆるホワイト企業を参考にしています。



中間報告をする柏原委員長

新人議員の紹介

3月30日に告示された市議会議員補欠選挙の結果、無投票で4月6日に次のとおり決まりました。
予算決算常任委員会及び、教育民生常任委員会に所属します。

◆高橋 大輔 議員

無所属
小野 39歳



議会からのお知らせ

▽会派構成の変更

4月7日、「湯和会・公明」の所属議員の変更の届出がありました。会派の構成は左表のとおりです。

(4月7日現在) 8人	代表	渡部 正明
	副代表	柏原 久寿
	幹事長	高橋 達
	事務局長	兼子 正寛
	会計	佐藤 愛子
	幹事	高橋 肇
	幹事	高橋 大輔
	監事	佐藤 功平
	【湯和会・公明】	

～議員と語ろう～

出張!! なんでも意見交換会

開催希望団体募集!

いろいろな分野、たくさんの方々の
思いや声を聴かせてください。



例えばこんなことを・・・

- ・〇〇で困っているのだが、何とか解決したい
- ・〇〇の問題について、議員に理解してほしい
- ・いま、地域ではこうなっているんだけど
ここを見てほしい

※状況に合った常任委員会等が出張します!

目的

各種団体やグループなどを対象に、活動内容に沿ったテーマで議員と意見交換を行い、課題の共有や相互理解を深めるとともに、ご意見や要望などを議会活動に反映させ、政策提言などに生かします。

対象者

市内に所在する5名以上の市民等（市内に居住、滞在または通勤、通学する方）により構成され、5名以上で参加できる団体。

開催日時及び場所

申込書に記載された希望日時及び場所について、申込団体と調整のうえ決定します。なお、開催時間は原則として1時間30分以内とさせていただきます。（全体時間の半分程度は、意見交換の時間としてください。）

申込方法及び問い合わせ先

開催を申し込もうとする団体は、「出張!! なんでも意見交換会」開催申込書に必要な事項をご記入のうえ、開催希望日の3週間前までにお申し込みください。（下記申込書ダウンロード又はHPから様式をご準備ください。）

【申込及び問い合わせ先】 湯沢市議会事務局

※申し込みは郵送、FAX、Eメール、持参のいずれか

【住所】 〒012-8501 湯沢市佐竹町1番1号

【Eメール】 gikai@city.yuzawa.lg.jp

【TEL】 0183-73-2168

【FAX】 0183-72-3780

申込書のダウンロード
はこちら▶



出席議員

「出張!! なんでも意見交換会」に出席する議員は、申込書に記載されたテーマに関係する常任委員会、議会運営委員会に所属する議員です。

注意事項

- ①報道機関に対して、あらかじめテーマなどの情報提供と当日の撮影を許可する場合がありますので、ご了承のうえお申し込みください。
- ②意見交換会の様子などを写真撮影し、市議会だよりなどに掲載する場合があります。
- ③テーマの内容や開催時期によってはお受けできない場合があります。



愛知県日進市「議会だより」
愛知県瀬戸市「議会の広報広聴活動」

◎日進市 日進市では、「議会として作るのだから、議員が編集しよう」と議論し、平成6年6月の創刊号から議会だよりの編集を議員主導により行っていた。

◎瀬戸市 議会広報紙づくりをはじめケーブルテレビやラジオ番組の制作に

本市議会においても、議会だより作成時に事務局に負担がないよう議員と議会事務局職員の業務分担の検討に大変参考となる部分が多く、すぐにでも対応できる点も確認できた。

市民に読んでいただける紙面づくりの検討についても積極的に議論すべきと感じた視察であった。



愛知県日進市



愛知県瀬戸市

ついて議員自ら行うことに本市議会において見習う点が多く見受けられた。市民との意見交換会である「せとまちトーク」については、市民から寄せられる多様な意見の取り扱いや政策提言に結びつけるためのプロセスなどについて課題が見受けられた。

特に、政策提言に結びつける難しさについて、本市議会においても共通の課題であると共にこの問題の解決が、最も重要であると感じた。

本市議会基本条例第7条（議会広報広聴の充実）を各委員が念頭におき広報広聴委員の役割の重要性を再認識できた視察であった。

湯 沢市議会ご意見受付フォームに対してご質問等をいただきましたので御紹介いたします。今後も、市民の皆さまからの幅広いご意見等をお聴きし、開かれた議会を目指してまいりますのでよろしくお願いいたします。

なお、個別の回答のお約束はできませんが、皆さまからいただいたご意見等は、必ず湯沢市議会内で共有し、その内容により、議会運営の参考とさせていただくとともに、場合により個人情報に配慮した上で市議会ホームページ等において広くご紹介させていただく場合があります。

ご質問 山田地区を中心とした悪臭について

以下、ご質問原文

下ノ宿（山田）を中心にして、悪臭が酷いのですが陳情は上がっておりますでしょうか。



ご回答

お問い合わせの地区における悪臭についての陳情は、令和7年3月議会、それ以前に開催されました議会におきましても陳情書の提出はございませんが、令和4年7月に山田地区自治会連絡協議会より、湯沢市議会に「山田地区周辺における豚舎の臭気対策について」の要望書が提出されております。

なお、議会におきましては、直近1年において関連する一般質問が下記のとおり行われております。

令和6年第3回定例会 石川隆一議員 「山田地区豚舎の臭気対策について」

令和6年第4回定例会 大山 豪議員 「市内に所在する豚舎から発生していると思量される広範に及ぶ異臭について」

なお、令和4年12月以降に発生元とされる事業者と地域住民の代表や秋田県雄勝地域振興局、湯沢市農林課などの団体で組織する協議会をこれまで5回開催しており、豚舎の臭気改善に向けて、現在も協議がされております。このほか山田地区の議員と羽後町議会議員有志と臭気対策の勉強会を開催するなどの動きがございました。

行政視察の受け入れを行いました（令和6年度実績）

本市議会では、全国の議会関係者の皆さまからの視察の受け入れをしており、令和6年度は14の議会関係者が湯沢市にお越しになりました。

視察された事業に関する説明後には、質疑等、ディスカッションを行う場面もあり本市議会にとりまして貴重な情報交換の場になっています。

No	日時	議会名	内容	No	日時	議会名	内容
1	4月24日	宮城県栗原市議会	議会報告会及び市民等との意見交換会について	8	10月3日	愛知県岡崎市議会	未来投資型人材育成事業について
2	4月24日	愛媛県今治市議会	議会のICT化について	9	10月16日	愛媛県西予市議会	議会改革の取組について
3	5月15日	静岡県焼津市議会	重層的支援体制整備事業について	10	10月17日	北海道当別町議会	ゆざわビジネス支援センターについて
4	5月21日	滋賀県高島市議会	公共施設再編計画について	11	10月17日	茨城県つくばみらい市議会	介護予防の取組について
5	7月4日	宮城県多賀城市議会	議会改革の取組について	12	10月30日	島根県大田市議会	ゆざわビジネス支援センターについて
6	7月17日	熊本県宇土市議会	議会改革の取組について	13	11月12日	福島県相馬市議会	ゆざわ市民一日議会について
7	8月5日	秋田県大仙市議会	議会における政策立案・提言の仕組みについて 市民との懇談について 議員間討議について	14	11月13日	宮城県岩沼市議会	タブレット端末を活用したオンライン委員会（会議）及び議会におけるICTの活用について（ペーパーレス以外）

◆ 議員特別研修の実施状況 ◆

湯沢市議会では、市政全般の課題や市民の意見、要望などを的確に把握し、自己の能力を高めようとする議員の資質向上と豊かなまちづくりに寄与することを目的に『湯沢市議会議員特別研修実施要領』を定め、議員を研修に派遣しています。議員自ら、スケジュールを組み立て、研修内容を選択し、取り組んでいます。

1月～3月までの実施状況は、下記のとおりです。

月日	議員名	研修内容	研修先（主催者、会場）	派遣経費
1月25日～26日	石川 隆一	地方議員、地方議会のあるべき姿とは 『地方議会の仕事とは』 地方議会のあるべき姿、議会改革のすすめかた 他 『効果を上げる議員活動とは』 ヒアリングの技法、効果的な質疑質問のポイント 他	地方議員研究会 リファレンス西新宿大京ビル	受講料 30,000円 旅費 44,820円
2月2日～3日	小田嶋秋一	よくわかる市町村財政分析基礎講座 議員・市民が財政を学ぶ意義、財政収支はどうなっているか？ 収支の話、歳入の仕組み、歳出の仕組みを考える 他	NPO法人 多摩住民自治研究所 三鷹市市民協働センター	受講料・テキスト代 29,860円 旅費 48,020円
2月12日～13日	藤田 健志	新人議員からベテランまで 質問・財政基礎研修 第1部『絶対的質問力』 質問準備・データの集め方、型を決める、質問作成の7つの極意 第2部『質問作成虎の巻』 一目おかれる質疑のポイント、すごいと思われる切り返しのポイント 他	地方議員研究会 リファレンス西新宿大京ビル	受講料 30,000円/人 旅費 50,120円/人
2月20日～21日	高橋 克己	『地域の足』が無くなる？交通空白解消セミナー 『交通空白と地域公共交通の役割②』 地域交通法の改正の歴史と意図、自治体の役割の再確認 他 『ライドシェアの基礎と課題』 日本版ライドシェアの全国展開、地域の足対策と観光の足対策 他	地方議員研究会 リファレンス西新宿大京ビル	受講料 30,000円 旅費 50,320円

◆ 関係私企業との請負契約などの状況 ◆

湯沢市議会議員政治倫理条例等に基づく議員関係私企業との請負契約等及び請負単価契約の状況について、市長から報告がありましたので次のとおり公表します。

◆ 関係私企業との請負契約など

- 1 請負契約等の状況（1件あたりの額が30万円を超えるもの）
令和6年11月1日から令和7年1月31日までに締結したもの 該当なし
- 2 請負等単価契約の状況（契約期間終了後における支払総額が30万円を超えるもの）
令和6年11月1日から令和7年1月31日までに締結したもの 該当なし

議会のうごき

1月・2月・3月

- 1月5日 令和7年湯沢市消防出初式
- 1月15日 議会運営委員会、広報広聴委員会
- 1月20日 全員協議会
- 1月21日 道路・河川合同中央要望会（～22日）
- 1月23日 第9回議会改革研修会
- 1月24日 第10回議会改革研修会、議会運営委員会、会派代表者会議
- 1月27日 1月臨時会
- 1月28日 広報広聴委員会行政視察（～29日、愛知県日進市・瀬戸市）
- 1月31日 2月期月イチ👉オンラインミーティング、令和6年度第2回秋田県市議会議長定例会
- 2月1日 首都圏ふるさと湯沢会総会及び懇親会（東京都）
- 2月6日 全員協議会
- 2月14日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 2月17日 全員協議会、議員全員協議会、広報広聴委員会、秋田県南市町村議会議長連絡協議会
- 2月18日 教育民生常任委員会出張!!なんでも意見交換会
- 2月21日 議会運営委員会
- 2月25日 第1回定例会本会議（開会）
- 2月27日 本会議（報告・議案質疑、議案等付託、＜補正関係＞委員長報告、質疑、討論、採決）、予算決算常任委員会全体会（早期審査）、県南地域市議会議長懇談会
- 2月28日 3月期月イチ👉オンラインミーティング、湯沢雄勝広域市町村圏組合議会全員協議会・定例会
- 3月2日 雄物川上流山田堰改築事業「起工式」
- 3月3日 本会議（代表質問）
- 3月4日 本会議（一般質問）
- 3月7日 予算決算常任委員会全体会（総括質疑）、議会運営委員会
- 3月10日 予算決算常任委員会分科会（各分科会）、産業建設常任委員会委員協議会
- 3月11日 次世代に残したいホワイトな湯沢市議会のあり方に関する特別委員会、総務財政・教育民生・産業建設常任委員会、総務財政・教育民生委員協議会
- 3月13日 予算決算常任委員会全体会、全員協議会、議員全員協議会、広報広聴委員会
- 3月18日 本会議（閉会）、議員全員協議会、選挙管理委員会委員及び補充員当選告知書交付
- 3月21日 湯沢市複合公共施設整備工事安全祈願祭・起工式
- 3月22日 湯沢市市制施行二十周年記念式典

議長交際費(1月・2月・3月)

支出区分	内 訳	件数・個数	金額(円)
会費	令和6年度湯沢市スポーツ協会スポーツ賞受賞祝賀会 会費 ほか	15	105,000
甲慰	犬っこまつりお堂っこコンクール優秀賞 寄贈 ほか	4	23,027
接遇	議長・副議長名刺代	3	18,480
合計		22	146,507

※各項目の詳細については、市ホームページをご覧ください。

広報広聴委員会

委員 高橋 達	委員 佐藤 愛	委員 寺田 純	委員 宮原 晃
副委員長 小田嶋 秋	委員長 藤田 健		

学校に通っている子どもたちの姿をこれからもたくさん見守っていけるよう湯沢市議会でも少子化対策・人口減少の策を練り、市政に反映していけるよう精進してまいります。

（佐藤 愛子記）

■ご意見等をお寄せください。

●湯沢市議会に対してのご意見・ご質問などのようなことでも結構です。寄せられた内容に関しては、議会活動の参考とさせていただきますほか、市議会だよりやその他の媒体で紹介させていただく場合があります。

提出方法

郵 送：〒012-8501
湯沢市議会事務局 宛（住所不要）
FAX：0183-72-3780
メール：gikai@city.yuzawa.lg.jp



※ 右のQRコードから入力フォームでも提出できます。

6月定例会の日程（予定）

5月29日	本会議 開会（議案上程、提案理由説明）
6月2日	本会議 （議案質疑・付託、請願・陳情付託）
6月5日	本会議 一般質問
6月6日	本会議 一般質問
6月9日	（一般質問 予備日）
6月12日	常任委員会
6月13日	（常任委員会 予備日）
6月17日	予算決算常任委員会（全体会）
6月20日	本会議（採決） 閉会

※日程については変更になる場合がありますので、ご了承ください。

■請願・陳情の提出締切は5月22日(木)午後5時



秋田県湯沢市議会

ユーチューブ
チャンネル

■議会傍聴について

●本会議や各委員会は、当日受付でどなたでも傍聴できます。
開催当日、市役所本庁舎4階
議会事務局までお越しください。



傍聴の仕方

■議会中継について

●本会議の様子を湯沢市議会ユーチューブチャンネルでインターネット配信（ライブ・録画）をしていますのでご覧ください。



ライブ・録画



桜も咲き始めた湯沢市山田地区で新一年生が初登校しました。

集団登校でまだ慣れない道を、笑顔で上級生の後ろに並んで歩いていく姿はともかわいらしい。いつ見ても私たちに元気を与えてくれます。

新一年生は18人。ほんのり寂しさを覚えます。